

9月より2学期が始まり、41名の児童と20名の職員で、無事にスタートを切ることができました。

7月の梅雨明け以降、猛暑日を超える暑さが9月に入ってから続きました。暑さ指数が基準値を超えることも多く、そのたびに子どもたちは外遊びができなかったのですが、自分の健康を最優先に考えて、室内で落ち着いた態度で生活していました。その暑さも、ここ数日でようやく落ち着きを見せ、「暑さ寒さ彼岸まで」のこのばどおりの気候となってきています。そのような中で、2学期は遠足や宿泊学習、修学旅行、そして「上小まつり」など、楽しみにしている行事を予定しています。子どもたちにとって、意義のある2学期にしていきたいと考えています。

夏休み中には、お忙しい中にも関わらず、保護者の皆様に「夏休みの課題」を持参していただきまして、ほんとうにありがとうございました。また、9月初旬に発生しました外国人による殺人未遂事件の影響によりお願いしました「登下校の送迎」につきましても、ご協力いただきましてありがとうございました。

9月30日(月)には、今年度第1回目の通知表を、お子さんにお渡しします。お子さんと一緒に見ていただき、10月からの学校生活に生かしてほしいと思います。通知表につきましても気になること等がありましたら、学校までご連絡ください。(0280-98-3009)

今後もお子さんに関わる様々な面で、保護者の皆様にはお願いをすることがあると思いますが、ご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

9/2(月) 第2学期始業式・表彰

2学期にがんばりたいことを、発表できました。読書に親しむことは、大切ですね。



9/18(月) 1~3年生里山体験活動

上手にとるコツを教わりながら、たくさんのお栗を拾うことができました。



10月の主な行事予定その1

9(水) 4・5年生宿泊学習 10日(土)まで

11(金) 1~3年生遠足

14(月) スポーツの日

15(火) 定期会計集金日

17(木) 6年生修学旅行 18日(金)まで

上大野小HP

10月の主な行事予定その2

22(火) スクールカウンセラー来校日

24(木) クラブ活動

26(土) 上小まつり 第3回学校運営協議会

28(月) 振替休業日(上小まつり)

30(水) 1~3年生里山体験活動

今年度第1回の学校評価の結果を、以下に示しました。評価結果や分析内容を含め、学校生活全般について気になること等がありましたら、学校(0280-98-3009)までご連絡ください。保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

令和6年度 第1回学校評価の結果について

- 1 調査期間 令和6年7月11日～7月17日
- 2 回答者 児童40名(41名中) 保護者32名(34名中) 教職員8名
- 3 回答形式 4点法(4:よくあてはまる 3:どちらかといえばあてはまる 2:どちらかといえばあてはまらない 1:あてはまらない)
- 4 結果の表示 各設問の合計点数を回答者数で除算し、平均評定値を算出。
- 5 評価結果

設問(表記が、児童・保護者・教職員では異なっているため、設問①～⑩は「児童用」、設問⑪は保護者用で示す。)	平均評定値			
	低学年	高学年	保護者	教職員
①元気に進んであいさつをしている。	3.7	3.4	3.3	3.6
②友達の嫌がることをせずに、仲良く過ごしている。	3.8	3.8	3.8	3.8
③「ありがとう」や相手が嬉しくなる「あったか言葉」を使っている。	3.9	3.8	3.7	3.5
④授業がよく分かる。	3.7	3.5	3.3	3.5
⑤学習用端末(タブレット)を使っている。	3.7	3.5	3.1	3.3
⑥授業中、友達や先生の話をよく聞いている。	3.7	3.8	2.9	3.4
⑦家庭学習に取り組んでいる。(学年×10+10分)	3.7	3.6	3.0	3.4
⑧授業中、自分の考えをいろいろな人に伝えることができる。	3.5	3.3	3.1	3.3
⑨授業が楽しいと感じる。	3.9	3.5	3.3	3.6
⑩規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯)をしている。	3.5	3.3	3.3	3.5
⑪外で週2回以上遊んでいる。	4.0	3.6	3.3	3.4
⑫自分のよいところ(良さや頑張っていることなど)を知っている。	3.6	2.9	3.3	3.9
⑬学習や生活の中で、失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦している。	3.7	3.3	3.1	3.8
⑭先生は困っていることに相談ののったり対応したりしてくれる。	3.7	3.9	3.7	3.9
⑮便りや連絡帳、ホームページなどで学校の様子や連絡を伝えている。			3.8	3.8

自由記述欄(原文のまま記載しています)

- ・2年生の男の子が、ちゅういしても、へんなことをする。(3年児童)
- ・タブレットの持ち帰りをやめてほしいです。重いし、家ではあまり使わないので。(隠れてゲームをしていることもあり困っています。)(3年保護者)
- ・子供が誰にも相談できないことを、担任の先生や他の先生方から話を聞いてもらって、自分の中で少しずつ解決してきているので、とても感謝しています。(6年保護者)

- 6 評価結果の分析と考察 ○:よいと思われる結果 ●:今後の課題となる結果
- 全体的に、昨年度第2回目の学校評価結果と比べて、平均評定値が3.0以上となった項目が増えています。今後も、各設問に係る具体的な取組を、全校体制で進めていくようにします。
 - 設問②「友達の嫌がることをせずに、仲良く過ごしている。」が、児童・保護者・教職員すべてで数値が高くなっています。今後も、児童の様子を注意深く見ながら、「児童相互のよりよい人間関係の維持」に努めていきます。
 - 設問③「『ありがとう』や相手が嬉しくなる『あったか言葉』を使っている。」も、児童・保護者・教職員すべてで数値が高い結果となっています。今後も、各自が積極的に使えるよう、道徳教育及び人権教育の充実にも努め、「やさしさあふれる上大野小学校」を目指していきます。
 - 設問④「先生は困っていることに相談ののったり対応したりしてくれる。」も、数値が高くなっています。日々の生活において、学級担任が児童の様子を把握し、適宜声かけをすることで、「教員と児童との人間関係づくり」に努めています。児童にとって「話しやすい先生」になることを目指しながら、今後も、定期的、または必要に応じてアンケートや教育相談を実施し、児童の持つ「困り感」に寄り添っていきます。
 - 設問⑥「授業中、友達や先生の話をよく聞いている。」の、保護者の数値が低くなっています。今後、学級活動等において、話を聞くことの大切さについて、子どもたちと学んでいくようにします。また、以下のとおり、設問の文章についても検討していきます。
 設問⑥にかかる文章
 児童用:「授業中、友達や先生の話をよく聞いている。」
 保護者用:「お子さんは、要点を押さえて相手の話を聞くことができますか。」
 「よく」=「要点を押さえて」?
 - 設問⑫「自分のよいところ(良さや頑張っていることなど)を知っている。」の、高学年児童の数値が低くなっています。これまでも実践していたことではありますが、日々の学校生活の様々な場面において、私たち教員一人一人の人権感覚を高め、その児童の良さや頑張っていること、その児童にかけたい「ありがとう」やねぎらいのことは等をかけ、児童一人一人の自己肯定感や自己有用感(自分が他者の役に立っているという感覚)を育てていくよう努めていきます。